

再公募 豪州短期英語研修プログラム「理工系学生のための海外英語研修」募集要項

募集概要：

メルボルン（オーストラリア）にあるモナシュカレッジにおける4週間、理工系学生のための海外英語研修プログラムです。本プログラムはグローバル理工系学生育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加は、コースの単位が付与されます（注参照、大学院生の単位付与についても注参照）。

レベルに応じた英語研修、及び理工系学生向け英語研修、現地施設や大学施設の訪問が予定されており、宿泊は現地の一般家庭でのホームステイです。なお、参加学生は、本プログラム参加後、2016年9月25日（日）に開催されるTOEICの団体受験（受験料は大学負担）が義務付けられています（どうしてもこの日に受験できない者は相談のこと）。応募予定者には前期に開講されている英語選択科目の履修を強く推奨します。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 オーストラリア・モナシュカレッジ

【渡航期間】 2016年8月17日（水）～9月18日（日）（4週間）

*フライトの都合で1日前後変更する可能性があります。フライトはキャセイパシフィック航空を利用予定。

【費用】 約50-55万円（航空券代、燃料サーチャージ、空港税、現地宿泊費（3食込み）、オリエンテーション等費用含む。為替レート、参加人数によって変動の可能性がある。）

*現地での諸経費（交通費等）は上記の費用には含まれません。

*大学の指定する海外旅行保険に加入してください。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生（主に学士課程の学生。大学院生も可）。VISA申請の日程都合上、再公募に関しては日本国籍の学生のみ応募可とします。
2. IELTS 3.5 相応以上の英語力を有する者。
3. 学士課程の学生に関しては、グローバル理工系学生育成コースに所属している学生を優先する。

【応募方法】 添付の申請書（“Summer 2016 Short-term Study Abroad Program Application Form”）を国際連携課総務グループ宛てに提出して下さい。

【募集人数】 10名程度

【選考方法】 書類審査

【応募締切】 2016年 5月31日（火） 17:00

*応募に際して、申請書類に学士課程の学生は類主任または学科長、大学院生は専攻長の承認を必ず得て下さい。

【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられます。

事前学習 6月～7月の水曜日、昼休み～午後の時間帯で6回開催予定

報告書の作成

報告会 10月開催予定

2017年4月 留学フェア合同報告会（代表者のみ）

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）対象です。以下の基準を満たした学生には7万円が支給される場合があります。（別途書類の提出が必要です。必要書類について

は、選考後の全体オリエンテーションにて説明されます。*学内規定により国費留学生には奨学金の支給はありません。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO））
2. 前年度の成績評価係数が 2.30 以上（JASSO 規定の計算式に基づく）であること ➡ 学業成績書で確認する。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第 3 位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）+（「評価ポイント2の単位数」×2）+（「評価ポイント1の単位数」×1）+（「評価ポイント0の単位数」×0） / 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が 2.0 以上～2.3 未満（JASSO 規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合があります。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者（原則として家計基準に合致する者） ➡ 申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 学士課程 1 年生および 2 年生の参加については、所定の手続きを経て、「英語スピーキング演習第一」および「英語スピーキング演習第二」の単位が付与されます（2 単位）。この単位はグローバル理工人コースの英語力・コミュニケーション力強化プログラムの単位にはなりませんが、実践型海外派遣プログラムの単位にはならないため、コース所属者は 3・4 年次に別の実践型海外派遣プログラムを履修してください。
2. 学士課程 3 年生および下記の条件を満たす 4 年生の参加については、「実践型科学技術英語海外研修」の単位が付与されます（2 単位）。
 - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。
3. 大学院生は所定の手続きを経て、「英語スピーキング演習第十三、第十四」等の英語の選択科目の単位（2 単位）が認定されます。
4. 学士課程の学生は上記 1. と 2. にかかわらず、「実践型科学技術英語海外研修」等の科目ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合があります。
5. 国費留学生は国費奨学金を受け取るための毎月の手続きを行う日が限られます（特に 9 月）。申込み前に下記問い合わせ先に相談してください。
6. 持病などのために特別なサポートを必要とする学生は申し込み前に下記問い合わせ先に相談してください。

【プログラムの内容の問い合わせ、申請書提出先】

国際部国際連携課

大岡山南 6 号館 4 階 405 号室 ※「留学情報館」という掲示が出ている部屋です。

電話：03-5734-3433（担当：一ノ瀬） e-mail: intl.sgu@jim.titech.ac.jp